

2015年8月7日（金）～9日（日） 赤木沢・薬師岳

昭文社の山と高原地図にも「沢登りコースとして有名」と記載があり、聞く人聞く人「イイとこだ、イイとこだ」、という赤木沢と、展望の素晴らしい薬師岳へ行ってきました。天気も良く快適で、うわさに違わぬ所でした。

メンバー：倉澤（記）、佐藤

8/7

タイム：折立 9：30～太郎平小屋 14：00～薬師峠テン場 14：40

金曜日でしたが夏休み中なのか折立の駐車場は一杯。トンネル手前までの路肩駐車を覚悟しましたが、なんとか駐車場の隅に置くことができました。初めから予想外（佐藤氏は新穂高や中房、七倉の駐車場争いを知っているので素知らぬ顔）。

一日目の行程は折立から薬師峠テン場まで。日当たり良好、展望抜群の尾根ですがガスが掛かっており太郎平小屋を視認できたのは小屋手前50M。そのせいか「まだか、まだか」と思わずに太郎平小屋に着きました。久々の2泊装備のわりには、まあまあタイムで太郎平小屋に到着。ここで計画書を提出、冷えたコーラでバテ気味の佐藤氏の体力回復を図る。

とても快適な薬師峠テン場に3日間お世話になるテントを設営後、早めの夕食と就寝。明日が楽しみです。

8/8

タイム：薬師峠テン場 3：50（発）～薬師沢小屋 5：45（6：15入渓）～赤木沢出会 7：25～30M大滝 9：15～二俣 10：50（右俣遡行）～源頭部 12：20（遡行終了）12：55発～稜線 13：25～北ノ俣岳 14：00～太郎平小屋 15：20～薬師峠テン場 15：40（着）

計画段階では5時発でしたが、リーダーの助言で4時発に変更（人は多い所では順番待ちの時間が不確定要因）。ヘッドンの明かりと赤牛岳・水晶岳・鷲羽岳の稜線が白むのを見ながら6時前に薬師沢小屋に到着し、沢装備を整え入渓。黒部の本流は平水、徒渉に支障は無いがゴルジュっぽい2mの爆滝を左から行くのは躊躇する位の水量。この滝を右から高巻き、赤木沢出会のナイアガラの滝？を堪能していると、単独者に追いこされる。水線の右をへつり、いよいよ赤木沢である。赤いナメ（模様がメロンパンみたい）をちょっと歩くとこの沢の代名詞である数段の滝群が現われ、一気にテンションが上がる。晴天の下、水はエメラルドグリーン、沢の両岸は開けていてお花畑。今まで行ってきた沢とは風景が違っている、これは綺麗だ。水線の右や左を歩き快適に遡行する。

が、頭を真っ白にして簡単な滝を登っているせいか、30Mの大滝手前で妙に心が落ち着いてくる。言葉は悪いが、単に綺麗なだけな沢だとも思えてくる。綺麗な沢は他にはいくらでもあるとは思いますが、安易に（一般登山道と沢登りでは大きな差があるのは承知）来れる此処まで綺麗な沢は他になく、その点でこの沢が有名なのではないかととも思う。

こんなことを考えていたせいか、赤木沢の神様に怒られてしまい、30Mの滝の高巻きで失敗してしまう。

30Mの大滝は5M+30Mの段になっており、高巻きはその手前の左岸のルンゼを岩壁を巻くように高巻き道が付いている。踏み跡も顕著だ。ルンゼを上がり、ヤブに入らず大滝の落ち口に下る踏み跡があるのだが、最初これを見逃し更に上へ登ってしまう。5M+30Mの想定と、薄い踏み跡を行くのは毎度のことだったのでつい上へ上へと行ってしまった。高巻きしすぎるのは危険と教えられていたので、どこかで下らねばいけないがその道への確信が持てない。よくよく考えれば、シーズン中に何百人と入渓するであろう沢にうすい踏み跡など辿ってはいけない。また、この大滝は高巻きするのがセオリーなので一層である。自分たちが踏んだ跡をたどり、ルンゼが途切れる所まで一旦戻る。よく見れば前記の踏み跡（登山道と見間違ふほど）が落ち口まで付いている。ここで時間のロス。佐藤氏には怖い思いをさせてしまった。

沢の状況、人の入り方をよく考えなかったのは大いに反省点。技量もまだまだヒヨッコだと再認識。

どっと力が抜け、大滝上の二俣で考えていた本流の左俣ではなく、下山路が近くなる右俣を選択。気持ちを入れ直し、苔の付いたこれまた綺麗な滝を7つほど慎重に直登し、ゴ一口歩きの後、水が湧き出る源頭部へ。冷たい水で一息ついてから、今度はお花畑5級と言われる、足の踏み場の無い様な場所を稜線まで上がる。振り返ると水晶岳・鷲羽岳の頂が遠くに見え、近くは登ってきた赤木沢の源頭、ここも素晴らしい景色だ。赤木岳の北東の稜線の下に残っている雪田を避け、登山道に出てからもう一度振り返ると、「今度、左俣だぞ」と赤木沢が言っているような気がする。

北ノ俣岳から太郎平小屋までが長く感じられたが、佐藤氏の励ましを受けながら歩く。昨日とは立場が逆。テン場に着くと、夕食は特製のトマトパスタ。

8/9

タイム：薬師峠テン場5：00（発）～薬師岳6：50～薬師峠テン場8：35（着）9：45（発）～折立13：10（着）

本日は、薬師岳ピストンで下山のみ。5時発、山頂6時50分と写真を撮りながらもまあまあペース。天気も快晴で北アルプスの展望を十分に楽しみ。次の山行に気もそぞろ。テン場に戻りお世話になったテン場を撤収後9時45分発。太郎平小屋の少

し下でライチョウの親子の砂浴びを見ることができ心が和む。早いペースで下山と
考えていた時に、三角点上空にへりの姿。聞けば転倒により救助との事。急ぐ必要もな
いし、何かの巡り合わせと考えゆっくりと折立まで下山し、車の運転も安全運転。道
中、ソフトクリーム、温泉と堪能してから帰宅となりました。